

GLORY REPORT

グロリーレポート

トップメッセージ

『2014中期経営計画』の総仕上げを行い、
次期中期経営計画のスタートにつなげてまいります

p05

特集1

巨大マーケット・中国で、さらなる事業拡大を目指す

p07

特集2

次世代のモノづくりを ~埼玉工場のご紹介~

第 69 期
中間報告書

平成26年4月1日から
平成26年9月30日まで

Contents

トップメッセージ	01	セグメント別の状況	03	製品トピックス	04
特集1	05	特集2	07	財務データ	09
会社情報	10	株主メモ			

『2014中期経営計画』の 総仕上げを行い、 次期中期経営計画のスタートに つなげてまいります

代表取締役社長

尾とろ和



平成27年3月期上半期の経営環境と業績について

海外市場は北米、 国内は遊技市場の販売が順調

当上半期の日本経済は、消費税増税に伴う個人消費への影響が見られたものの、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済につきましては、米国で回復傾向が続きましたが、欧州では足踏み感が見られ、新興国においては中国が減速傾向になるなど、全体としては不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、『2014中期経営計画』の最終年度として諸施策を展開した結果、当上半期の連結売上高は977億76百万円と前年同期に比べ若干増加いたしました。金融市場及び流通・交通市場における販売の低調が利益を押し下げ、営業利益は減少いたしました。

セグメント別にみますと、国内の金融市場では、更新需要が先送り傾向にあり、主要製品である「オープン出納システム」や窓口用「紙幣硬貨入出金機」が低調でありました。流通・交通市場では、スーパーマーケット等、小売店の設備投資に慎重な姿勢が見られ、主要製品である「レジつり銭機」の販売が伸び悩みました。遊技市場

では、ホール数は依然として減少傾向にありますが、既存店舗の改装が増加したことなどにより、主要製品である「カードシステム」等の販売が大きく伸びました。一方、海外につきましては、北米では、米国経済の順調な回復を背景に金融機関の設備投資が進み、窓口用の「紙幣入出金機」の販売が好調でありました。また、インドを始めとする新興国では、偽造紙幣の検知や紙幣の正損選別に使用される「紙幣整理機」の販売が順調に推移いたしました。

『2014中期経営計画』の進捗について

計画の最終年度として、 各戦略の総仕上げを推進

平成24年4月にスタートさせた『2014中期経営計画』は、最終年度も残すところあと4ヶ月となりました。

国内事業につきましては、既存市場の深掘りと未導入市場の攻略に向けた諸施策を推し進めております。金融市場では、本年11月に新型「オープン出納システム」を発売いたしました。従来機をあらゆる側面からレベルアップさせた本製品の市場投入により、今後の更新需要を確実に獲得してまいります。また、流通・交通市場では、「レジつり銭機」の販売拡大に向け、飲食店や専

平成27年3月期上半期の実績と通期の業績予想(連結)

()内数値は、前年同期(前期)比

	当上半期	通期(予想)	前期
売上高	977億76百万円(+ 1.5%)	2,250億円(+ 2.9%)	2,186億32百万円
営業利益	49億11百万円(- 8.9%)	205億円(+22.6%)	167億18百万円
経常利益	66億61百万円(- 5.0%)	210億円(+ 6.2%)	197億64百万円
当期(四半期)純利益	40億37百万円(+59.0%)	120億円(+20.7%)	99億39百万円

門店等まだ導入が進んでいない業態への提案を強化しております。遊技市場では、昨年発売した新型「ホールトータルシステム」を核に精力的な営業活動を展開しております。



新型オープン出納システム
<WAVE Pro>

一方、海外事業につきましては、タラリス社買収によるシナジーの最大化に向け、拡大した直販・直メンテナンス網を活かした地域別事業戦略を本格化させております。例えば欧米では、金融市場において窓口用「紙幣入出金機」の展開を強化するとともに、流通市場の事業拡大にも注力しております。また、インドや東南アジア諸国では、経済発展に伴って「紙幣整理機」の需要が伸びておりますので、幅広い製品ラインナップを活かした戦略を展開し、販売を拡大してまいります。

以上のような施策を確実に実行し、本計画の最終年度として総仕上げを行うとともに、『長期ビジョン2018』の実現に向けた第2ステップとなる次期中期経営計画の策定も進めてまいります。

当期の業績見通しと配当について

収益の確保に向け、
利益体質の強化に注力

下半期の見通しにつきましては、国内では緩やかな景気回復が持続するものの、消費税増税の影響が長期化するなど、景気の下押しリスクが懸念されます。一方海外では、米国で回復基調となるものの、欧州や中国

を始めとする新興国では不透明な状況が続くと予想されます。

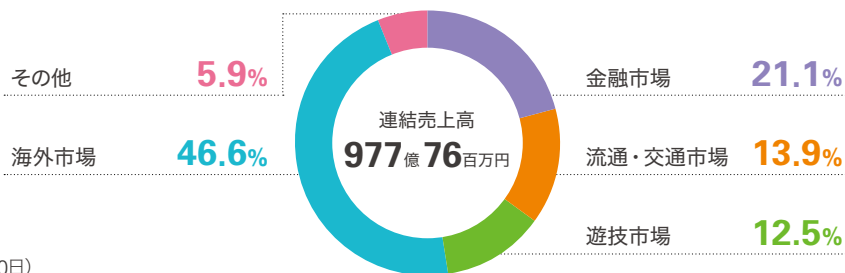
厳しい経営環境下ではありますが、国内では、主力製品である「オープン出納システム」を始めとした新製品により更新需要を着実に獲得するとともに、未導入市場への積極的な提案営業に注力してまいります。また、海外では、地域別事業戦略を強力に推進するとともに開発や生産機能においても統合効果の向上を図り、買収によるシナジーを最大化してまいります。

これらの取組みを確実に推し進めることにより、通期の連結業績につきましては、期初の予想通り売上高2,250億円を見込んでおります。利益につきましては、上半期の業績や下半期の事業環境を踏まえて期初予想を修正し、営業利益205億円、経常利益210億円といたしました。当期純利益につきましては、期初予想の120億円を確保できると見込んでおります。これらの目標達成に向け、引き続き収益の拡大と利益体質の強化に全力で取り組んでまいります。

なお、当期の中間配当は、1株につき24円とさせていただきます。期末配当につきましては、25円(年間49円)を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の状況



(各期:4月1日~9月30日)

金融市場

主な販売先: 国内の金融機関、OEM先

■ 売上高	206億70百万円
前年同期比	-7.2%
■ 営業利益	15億20百万円
前年同期比	-18.8%

前第2四半期	22,279	1,872
当第2四半期	20,670	1,520

主要製品の販売が低調

「多能式紙幣両替機」の販売は更新需要を捉え好調でありましたが、主要製品である「オープン出納システム」や窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は低調でありました。



多能式紙幣両替機
(EN-700)

流通・交通市場

主な販売先: 国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社

■ 売上高	135億61百万円
前年同期比	-12.7%
■ 営業利益	10億38百万円
前年同期比	-47.2%

前第2四半期	15,536	1,966
当第2四半期	13,561	1,038

「レジつり銭機」の販売が低調

警備輸送市場向け「店舗入出金機」の販売は好調でありましたが、流通市場向け「小型入金機」や主要製品である「レジつり銭機」の販売は低調でありました。



小型入金機
(DS-700)

遊技市場

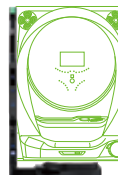
主な販売先: 国内の遊技場(パチンコホール等)

■ 売上高	121億98百万円
前年同期比	+10.2%
■ 営業利益	12億11百万円
前年同期比	+48.2%

前第2四半期	11,069	817
当第2四半期	12,198	1,211

「カードシステム」の販売が好調

「会員管理システム」や「賞品保管機」の販売は、ホールの新規出店数の減少等により低調であったものの、主要製品である「カードシステム」等の販売は好調でありました。



G8 EXSIM 各台計数ユニット
(JCP-200)

海外市場

主な販売先: 海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先

■ 売上高	455億36百万円
前年同期比	+11.7%
■ 営業利益	13億3百万円
前年同期比	+32.5%

前第2四半期	40,772	984
当第2四半期	45,536	1,303

米国やアジアで「紙幣入出金機」の販売が好調

ATM用「紙幣入金ユニット」の販売は低調であったものの、主要製品である「紙幣入出金機」の販売は米国やアジアで好調であり、さらに円安効果も加わったことから、市場全体としては順調に推移いたしました。



紙幣入出金機
(RBG-100)

その他

主な販売先: 国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業

■ 売上高	58億10百万円
前年同期比	-13.4%
■ 営業損失	1億63百万円
前年同期は営業損失	2億49百万円

前第2四半期	6,707	-249
当第2四半期	5,810	-163



社員食堂向けオートレジスター
(PSA-110)

<QN-20>

縦横高さ
65×65×30mm
(実物大)



券種を音声でお知らせ 手のひらサイズのグローリー

～国産初 視覚障がい者向けポータブル紙幣読み取り機<QN-20>を開発～

現在日本で発行されている4種類の紙幣は、目の不自由な方が指で触って判別できるように券種によって異なる特徴を備えています。例えば、ざらつき感のある識別マークや印刷面と触感の異なるホログラムシールなどがありますが、これらを指先で判断するのは慣れない方にとっては難しいものです。そこで当社は、より簡単に券種を判別する手段として、紙幣の画像を読み取って券種を知らせる本製品を開発し、本年10月に発売いたしました*。手のひらサイズの小さな製品に、グローリーの通貨処理機に使われている高度な認識・識別技術を凝縮し、触感に頼ることなく瞬時に券種を確認できるようにしました。

触感で分かる紙幣の特徴

識別マーク(深凹版印刷)



かぎ型(一万円札) 八角形(五千円札)

ホログラムシール

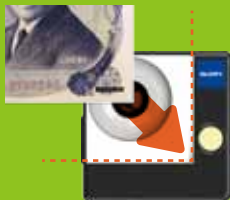


一万円札

五千円札

使い方

1 紙幣の角を装置に合わせる



2 ボタンを押す



3 券種をお知らせ



4つの
特長

シンプル設計

少ない操作で簡単に使えるように、機能は券種のお知らせだけ。電源スイッチも省きました。

自動省電力モード

使わないときは自動で省電力モードに切り替わります。

紙幣のどの角を 合わせても識別

表裏4方向、どの向きでも券種を判別できます。

通知方法は 3種類

音声、振動、ブザーから選べます。

担当者の
声



本製品は、当社初の個人向け製品です。これまででない分野でしたが、実際に利用される方々の声を聞きながら、シンプルかつ高品質な製品を目指して開発しました。小さなスペースにグローリーの技術を詰め込むのには苦労しましたが、試行錯誤の結果、コンパクトで高性能な製品を実現しました。多くの方々のお役に立てると確信しております。

開発本部 コアテクノロジー開発センター 技師長 **中塚 茂樹**

* 本製品の販売は、株式会社タイムズコーポレーション(代表取締役社長 山口成志、本社 兵庫県宝塚市)が行っております。
お問い合わせ先: 電話 0120-886-610(通話料無料)

巨大マーケット・中国で、さらなる事業拡大を目指す

中国は、「世界の工場」として成長し、今や「世界の市場」とも言われています。世界1位の人口を抱える中国の消費の伸びは目覚ましく、経済発展は沿岸部から内陸部へと拡大しています。

当社は、平成13年(2001年)、中国における販売拠点を設立し、事業展開をスタート。

広大な国土に数多くの金融機関を擁する巨大マーケットの開拓に向け、

販売ネットワークの拡大とともに現地生産を進めるなど、

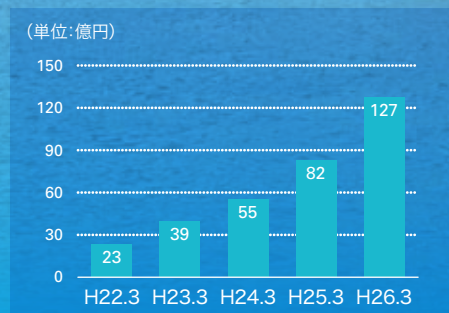
事業の拡大に取り組んでまいりました。今後の中国に

おける事業展開についてご紹介いたします。

中国の市場環境

中国では、偽造紙幣や汚損紙幣の流通防止に国家レベルで取り組んでいます。その対策の一つとして、中央銀行である中国人民銀行より金融機関に対し、平成27年(2015年)末までに店舗で取り扱う紙幣の記番号記録を開始するよう、通達が出されました。また、汚損紙幣を取り除くための“正損選別”も定着しています。これらを背景に、記番号記録と正損選別に対応した当社の紙幣整理機の需要が拡大しております。

中国市場における売上高の推移



グローリーの強み

製品の“機能”と“品質”

グローリー製品の強みは、“優れた機能”と“高い品質”。他社との違いを実感していただけるように、中国各地の金融機関店舗に製品を持ち込みデモを行う“キャラバン営業”を行っております。

広範な販売ネットワーク

上海及び香港の自社拠点に加え、約60社もの優良な販売代理店と契約し、広範な販売ネットワークを構築。迅速な販売・保守サービスを行っております。

中国におけるグローリーグループの拠点





執行役員 中国担当 兼
Glory Global Solutions Ltd.
Managing Director

渋谷 学

中国市場でさらなる成長を遂げるために

当社グループは、中国経済の成長の波に乗り、これまで売上を伸ばしてまいりました。経済成長の減速傾向が見られるなか、これからも中国市場で事業を拡大していくためには、グローリーならではの価値を提供し、他社との差別化を図る必要があります。そのために、市場の課題を細かく分析し、お客さまのニーズを捉えた高付加価値な製品を積極的に投入してまいります。

中国の金融機関の店舗数は日本に比べて遙かに多く、まだまだビジネスチャンスはあると考えております。当社グループは、これまで培ってきた通貨処理技術を活かし、巨大マーケット・中国においてさらなる成長を図ってまいります。

3つの機能を1台に

小型紙幣整理帯封機(UHS-10)を発売

偽造紙幣や汚損紙幣の流通を防ぐため、金融機関店舗では、顧客から預かった紙幣を再び窓口やATMから払い出す前に整理します。具体的には、券種ごとの仕分け、正損選別、紙幣記番号の記録を行い、100枚ごとに帯封します。この作業には、従来、紙幣整理機、記番号記録用のパソコン、紙幣帯封機が必要でしたが、3つの機械で作業するのは煩雑で、また設置スペースにも課題がありました。

そこで当社は本年7月、紙幣整理の作業を1台かつ自動で行うことができる本製品を発売いたしました。“省力化”と“省スペース化”へのニーズが強い中国において販売を拡大してまいります。



新製品

7インチカラー
タッチパネル


720枚/分の
スピード計数

導入前

券種ごとに仕分け・
正損選別


帯封

紙幣記番号を
記録



券種ごとの仕分けや帯封などの作業を1つずつ行う手間がかかる上、3つの機械を設置しなければならず、広いスペースが必要です。

導入後



3つの機能を
1台に集約

1台の機械で全ての作業が完結。作業を大幅に効率化します。また、コンパクトなので、小さな店舗でも設置できます。

次世代のモノづくりを ～埼玉工場のご紹介～



埼玉工場は、グローリーグループの関東地域の生産拠点として、平成2年に誕生いたしました。当時、最新鋭のファクトリーオートメーション設備を備え、大型コンベアによるライン生産を主流としておりましたが、その後、多品種少量生産に対応するため、セル生産に変更。現在では、ヒト型ロボット「NEXTAGE」を活用した生産を行うなど、環境変化に合わせ、常に進化を遂げてまいりました。いま当社グループで最もホットな生産拠点の一つ、埼玉工場に関する最新のトピックスをご紹介します。



〈埼玉工場の概要〉

住 所：埼玉県加須市古川二丁目4番地1
敷地面積：約40,000m²
従業員数：約300名
主な生産製品：流通・交通市場及び海外市場向け製品

ヒト型ロボット「NEXTAGE」とは？

画像を認識する「目」、2本の「手」を持つヒト型ロボット。人と同じように細かい作業も柔軟にこなし、コンパクトかつ移動も可能です。このロボットに当社の生産技術力を組み合わせることにより、多品種少量生産を主流とする当社のスタイルに合った生産ラインが完成しました。

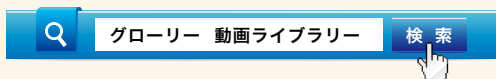


従業員と同じ生産ラインで作業



難しい両面テープはがしも器用に行います

ウェブサイトで動画をご覧いただけます。



「NEXTAGE」を活用した生産ライン構築の取組みが評価され、各賞を受賞いたしました。

平成24年10月

第5回ロボット大賞「次世代産業特別賞」

(主催：経済産業省、一般社団法人日本機械工業連合会)
川田工業株式会社とともに

平成25年9月

第5回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」

(主催：経済産業省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省)



生産本部 埼玉工場
製造部長

飛田 昭夫

「次世代型生産ライン」の構築に至るまで

「NEXTAGE」の実用化にあたっては、開発元である川田工業株式会社のサポートのもと、当社専用のソフトウェアを開発いたしました。同時に、作業工程、部品配置の見直しなど、数々の改善を重ねてまいりました。そして半年後、両社のコラボレーションがついに実を結び、人とロボットがそれぞれの特性を活かしながら共に働く生産ラインが完成し、今では計18台の「NEXTAGE」が活躍中です。近い将来、ヒト型ロボットが日本中で活躍する日が来るかもしれません。当工場は、そんな未来につながる“次世代型生産ライン”を構築できたと思っております。

埼玉工場トピックス

安倍総理大臣が視察

本年6月、安倍総理大臣が、ロボットを活用した新成長戦略の策定に向け当工場を視察されました。レジつり銭機の生産ラインで「NEXTAGE」が稼働する様子を見学され、「ロボットの活用により、生活や産業が大きく変わっていく可能性を確信することができた。ロボットを成長戦略の大きな柱にし、日本の成長に活かしていきたい。」とコメントされました。



尾上社長が生産ラインをご案内

検査工程でニンテンドーDS®を活用

埼玉工場では、製品完成後の検査工程において、手書きのチェックシートの代わりに、ニンテンドーDS®やタブレット端末を活用しております。入力した項目がそのままデータベース化されるので、検査結果の追跡作業もスピーディー。管理の“省力化”と、紙の使用量を減らす“省資源”を同時に実現するシステムです。



検査内容はニンテンドーDS®に入力

※ ニンテンドーDS®は、任天堂株式会社の登録商標です。

株主さま向け工場見学会のご報告

本年10月17日(金)・18日(土)、埼玉工場で、株主さま向け工場見学会を開催いたしました。当日は、当社の現況や埼玉工場の概要についてご説明の後、工場内の各製品の生産ラインをご見学いただき

ました。また、見学後は、工場に関するご質問のほか、当社グループのグローバル展開や株主還元等に関する活発な質疑応答が行われ、見学会は盛況のうちに終了いたしました。



「NEXTAGE」の動きに驚きの声



「習練塾」で訓練体験も



質疑応答の様子

参加者からのご意見・ご感想(アンケートより抜粋)

ロボットをたくさん使っているにも関わらず、非常に人間味のある工場だと思いました。

(40代・男性)

工場の中がとてもきれいで、驚きました。

(10代・女性)

ロボットを見てびっくりしました。すごい技術力ですね。

(70代・女性)

日本の製品の品質の高さを改めて認識できました。

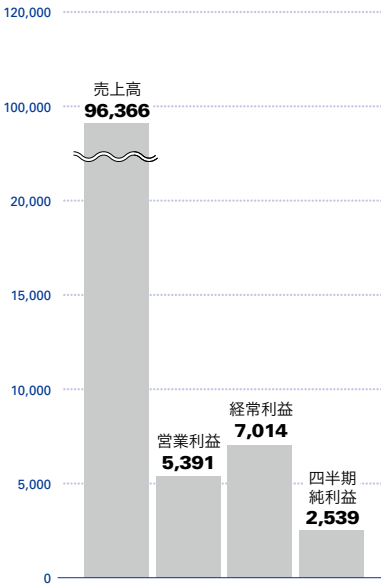
(60代・男性)

グローリーがとても身近に感じられ、楽しい一日でした。

(60代・女性)

四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

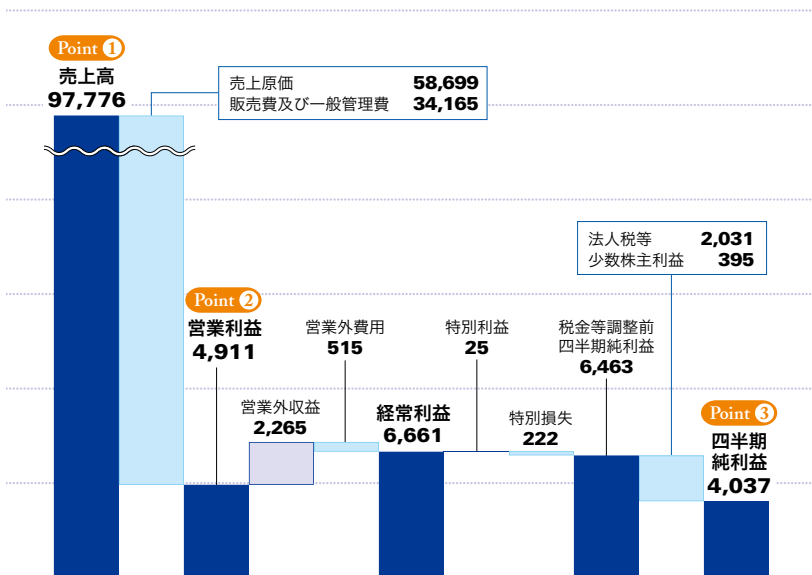
前第2四半期(累計)
平成25年4月1日から平成25年9月30日まで



(単位: 百万円)

前期 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	
売上高	218,632
営業利益	16,718
経常利益	19,764
当期純利益	9,939

当第2四半期(累計)
平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



Point

① 売上高

タリスグループとのシナジー効果や円安の影響により海外市場が大きく伸び、また遊技市場の販売も順調に推移しましたが、金融市場や流通・交通市場の販売が低調であったことから、前年同期に比べ1.5%の増加にとどまりました。

② 営業利益

売上原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加により、前年同期に比べ8.9%減少しました。

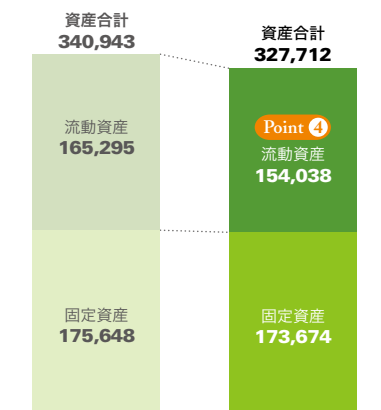
③ 四半期純利益

海外子会社の再編に伴う特別損失を計上した前年同期に比べ59.0%増と大幅に増加しました。

四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

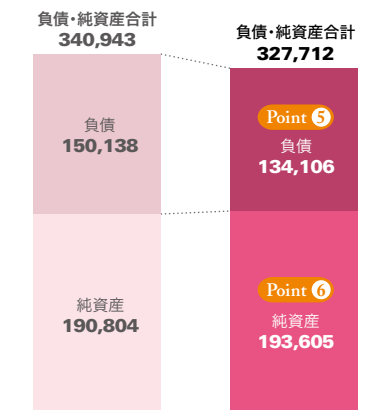
前期末
平成26年3月31日現在

当第2四半期末
平成26年9月30日現在



前期末
平成26年3月31日現在

当第2四半期末
平成26年9月30日現在



Point

④ 流動資産

現金及び預金の減少等により、前期末に比べ112億56百万円減少しました。

⑤ 負債

タリス社買収に伴う借入金の返済を進めた結果、前期末に比べ短期借入金が29億53百万円、長期借入金が39億23百万円減少しました。

⑥ 純資産

円安による為替換算調整勘定の増加等により、前期末に比べ28億1百万円増加しました。

会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,279名(連結 7,668名) (平成26年9月30日現在)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL: 079-297-3131 (代表)
事業所	本社・本社工場 (兵庫県姫路市) 東京本部 (東京都千代田区) 品川事業所 (東京都品川区) 埼玉工場 (埼玉県加須市) 支店等 東北支店(宮城県)、東日本支店(埼玉県)、 首都圏支店(東京都)、東海支店(愛知県)、 近畿支店(大阪府)、中四国支店(広島県)、 九州支店(福岡県) 姫路物流センター、姫路パーツセンター 41営業所、29出張所、4サービスセンター

連結子会社

【国内】

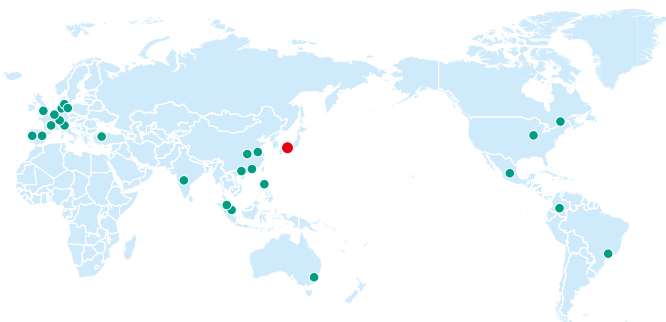
- グローリープロダクツ株式会社
- グローリーAZシステム株式会社
- グローリーサービス株式会社
- 北海道グローリー株式会社
- グローリーIST株式会社
- グローリーナスカ株式会社
- 株式会社グローリーテクノ24

【海外】

- 光栄電子工業(蘇州)有限公司
- Sitrade Italia S.p.A.
- Glory Global Solutions Ltd.
- Glory Global Solutions (International) Ltd.
- Glory Global Solutions (France) S.A.S.
- Glory Global Solutions Inc.
- Glory Global Solutions (Singapore) Pte. Ltd.
- Glory Global Solutions (Shanghai) Co., Ltd.

他24社

当社グループの主な拠点



役員一覧

取締役

代表取締役社長	尾上 広和
取締役	山口 義行
取締役	三和 元純
取締役	吉岡 徹
取締役	尾上 英雄
取締役	馬淵 成俊
取締役	小谷 要
社外取締役	佐々木 宏機
社外取締役	新島 昭

監査役

常勤監査役	中塚 良幸
常勤監査役	大谷 俊彦
社外監査役	竹田 佑一
社外監査役	中上 幹雄

株式の状況 (平成26年9月30日現在)

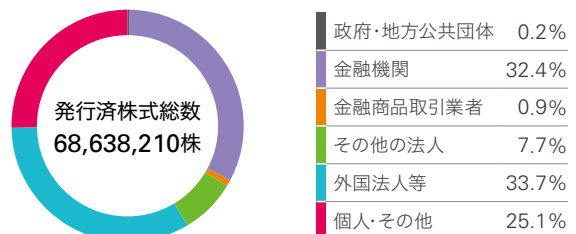
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株 (自己株式 2,951,197株を含む)
株主数	8,107名(前期末比 469名増)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	3,813	5.6
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,797	4.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	2,372	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,243	3.3
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
グローリーグループ社員持株会	1,924	2.8
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,685	2.5
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
グローリー取引先持株会	1,041	1.5

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,951,197株があります。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
証券コード 6457

公告方法 電子公告によります。ただし、事故
その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることが
できない場合は、日本経済新聞に
掲載して行います。
[公告掲載URL]
<http://www.glory.co.jp>

株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

[各種お問合せ先 / 郵便物送付先]
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL : 0120-094-777 (通話料無料)
受付時間 9:00~17:00
(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
[ウェブサイトアドレス] <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

グローリーIRメール 配信のご案内

当社は、ニュースリリースやウェブサイト更新のお知らせなど、株主のみなさまに役立つ情報をEメールでタイムリーに配信しております。当社ウェブサイトの「株主・投資家の皆さまへ」ページより、是非ご登録ください。

ご登録はこちらから

 <http://www.glory.co.jp/ir/>



グローリー IR

検索

ウェブサイト「株主・投資家の皆さまへ」ページ



地球環境保護のためにFSC認証紙と大豆油インキを使用しています。